

○事業所名	児童発達支援事業所「ひまわり こころん」			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	対象者数	10	回答者数	9
○従事者評価期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月25日
○従事者評価有効回答数	対象者数	4	回答者数	4

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より、強化・充実を図ることが必要 だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取 組み等	さらに充実を図るための取り組み等
1	専門性の高い職員（保育士・看護師・等） が支援を行うことで、専門的な支援を行う ことができます。	それぞれの職員が自己研鑽を行い、専門性の向上 に努めています。	職員の自己研鑽の機会の充実を図っていき ます。
2	医療機関と連携しながら支援を行っていま す。	こどものこころの診療所の医療スタッフ（言語聴 覚士等）が定期的にアセスメントを行い、コミュ ニケーション等について専門的な意見を取り入れ ながら支援を行っています。	連携を密にしながら社会性やコミュニケー ションを伸ばす支援について取り組んでい きます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる こと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要 な点等
1	小さな事業所のため、保護会の開催は現 在は行われていない。	行事での懇談や勉強会等での話し合いなどが密 に行われており、保護者が主催する形での保護者 会の必要性が感じられていない。	年間計画の中で、茶話会などの機会を設 け、新入園児の保護者も交流ができる機会 を設けていきます。
2	交流保育の機会が少なく、年間に1回程度 である。	職員体制が取れにくい状況にあることが多く、 積極的な交流の声掛けをすることが少なかった。	交流先の園を増やし、交流する機会を増 やしていくよう努めます。